

2022年度事業報告書

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

1 公益目的事業について(演劇の振興事業)

1. 「北海道の演劇の向上事業」演劇の製作公演等による人材育成に関する事業 定款第4条第1号に掲げる事業は、次の計画により行った。

(1) 演劇の企画、製作および公演による人材育成事業

札幌からの演劇創造と発信を目指して公演を行い、制作公演活動を活用して新たな演劇文化の担い手を育成する研修事業を行った。

2022度は、札幌座という財団付属の創造集団をもとに、新作4作品の実施・計画したほか、研修生を積極的に募集し、演劇制作を通じた人材育成に取り組んだ。

① 【新作】札幌座 Pit「受付」

作:別役実

演 出:斎藤歩(札幌座)

出 演:磯貝圭子(札幌座)、納谷真大(イレブンナイン)

公演日:4月7日～10日(4回) 会 場:シアターZOO(札幌)

入場者数:273人

② 【新作】札幌座第58回公演「烈々風 玉葱畝る 夏至白夜 沁みる挽歌に咽ぶ 匂ひよ」

作・演出:斎藤歩(札幌座)

出 演:斎藤歩、西田薫(札幌座)、磯貝圭子(札幌座)、泉陽二(札幌座)、熊木志保(札幌座)、
常本亜実(札幌座)、納谷真大(イレブンナイン)、梅原たくと(イレブンナイン)

公演日:6月11日～19日(12回) 会 場:シアターZOO(札幌)

入場者数:502人

③ 【新作】札幌座・道産子男闘呼倶楽部共同制作公演「五月、忘れられた庭の片隅に花が咲く」

作・演出:鄭義信

出 演:斎藤歩(札幌座)、犬飼淳治(道産子男闘呼倶楽部)、津村知与支(道産子男闘呼倶楽部)、
黒沼弘己(フリー)、智順(ファーザーズコーポレーション)、泉陽二(札幌座)

公演日:9月9日～16日(11回)、9月22日～26日(7回)

会 場:シアターZOO(札幌)、浅草九劇(東京)

入場者数:1,277人

④ 【新作】札幌座第 59 回公演「ひつじが丘」

原 作:三浦綾子

脚本・演出:斎藤歩(札幌座)

出 演:原子千穂子(札幌座)、西田薫(札幌座)、磯貝圭子(札幌座)、熊木志保(札幌座)、
常本亜実(札幌座)、山野久治(風の色)、東李苑(クリエイティブオフィスキュー)、
戸澤亮(フリー)、大森弥子(Takako Classical Ballet)、納谷真大(イレブンナイン)、
小島達子(イレブンナイン)、坂口紅羽(イレブンナイン)、沢井星香(イレブンナイン)

公 演 日:3 月 10 日～12 日(4 回) 会 場:北海道立道民活動センター かでるホール(札幌)

入場者数:973 人

⑤ 札幌座研修事業

新たな人材育成を目的とした研修生システム(公演活動を通して実践的に演劇を学ぶ)による俳優養成を行った(通年)。

講師:斎藤歩(札幌座)、磯貝圭子(札幌座)、清水友陽(劇団清水企画)、納谷真大(イレブンナイン)ほか

(2)演劇による教育普及などの人材育成事業

将来の演劇文化の担い手の育成と演劇の普及啓発のため、初心者から演劇部や演劇活動者、幅広い年齢層と地域を対象に、実績あるワークショップ指導者による演劇ワークショップ、コミュニケーションワークショップを行った。

① 演劇を活用した教育普及・普及啓発事業

小中高等学校の演劇初心者を対象に、演劇を活用したコミュニケーション教育および地域コミュニティ形成などの各種ワークショップを行った。このほか、教育の現場以外にも、社会福祉協議会や企業でのコミュニケーションワークショップ事業の実施した。

[実施校ならびに実施団体]

札幌市立厚別高等学校、札幌市立苗穂小学校、洞爺湖町洞爺中学校、立命館慶祥中学校、北星学園女子
中学高等学校、紋別社会福祉協議会、株式会社モロオなど

[講師] 斎藤歩(札幌座)、清水友陽(劇団清水企画)、磯貝圭子(札幌座)、西田薫(札幌座)、

納谷真大(イレブンナイン)、熊木志保(札幌座)、泉陽二(札幌座)、前田透(劇団木製ボイジャー14号)ほか

2. 「北海道の演劇の向上事業」 演劇等の創造活動の促進支援に関する事業

定款第 4 条第 2 号に掲げる事業は、次の計画により行った。

(1)扇谷記念スタジオ・シアターZOO の運営、管理

創造力を喚起する魅力的な創造空間を提供し、演劇をはじめ広範な芸術文化活動を振興し、優れた創造活動を地域に興すことを目的として運営、管理した。具体的運営は、運営責任者が運営者の助けを得て行った。

運営責任者：清水友陽(劇団清水企画／北海道演劇財団芸術監督)

運営者：斎藤歩(北海道演劇財団理事長)、木村典子(北海道演劇財団プロデューサー)、
磯貝圭子(札幌座)、納谷真大(イレブンナイン)

扇谷記念スタジオ・シアターZOO を、①道外の第一級の専門家と協働した上質でオーソドックスな作品創造と上演、②親子で観劇できる良質な作品創造、③海外の優れた団体との交流、④自立した演劇人の育成、⑤若い世代を専門家のいる劇場に招く取り組み、⑥学校現場や地域の集まりに芸術家を派遣、これらの柱に沿った長期的な展望に立った以下の事業を行った。

① シアターZOO 企画公演

精力的に活動する道内外・海外の劇団やアーティストと協力して公演を行うほか、若手劇作家の育成と創造を目的に公演を行った。また、これまで取り組んできた「劇のたまご」シリーズを継続し、アウトリーチ事業として札幌市こどもの劇場やまびこ座でも公演し、地域の演劇文化の向上を目指した。

5月	劇のたまご「ぐりぐりグリム～アラジンと魔法のランプ」(札幌)
	シアターZOO ダンスクリエーション「DANCE(R) BECOMING」
5月～6月	まつもと芸術劇場「月夜のファウスト」(松本)
6月	THEATER E9 KYOTO「フリー／アナウンサー」(京都)
10月	札幌座「郷愁の丘ロマンピア」(札幌・東京)
12月	シャンカル・ヴェンカテーシュワラン「犯罪部族法」(インド)
	イレブンナイン「農業少女」

② シアターZOO 提携公演

札幌を代表する中堅劇団(劇団清水企画、弦巻楽団)や若手劇団(ポケット企画)、プロデュース団体(ラボチ)、そして道外で精力的に活動する劇団およびアーティストと提携し、演劇文化の向上を目指す。

5月	SPR 実行委員会「INDEPENDENT:SPR22」(札幌・大阪)
7月	ラボチプロデュース のと☆えれき二人芝居「葉桜セレナーデ」(札幌)
11月	ラボチプロデュース ぶらすのと☆えれき「沼部、陸へ上がる」(札幌・北九州・大阪)
12月	劇団清水企画「秘湯河童ノ淵停車場」(札幌)
1月	イチニノ「おしまいのつづきのつづき」(茨木) ※2023年4月に延期
2月	ポケット企画「おきて」(札幌)
3月	弦巻楽団「舞台に立つ！ヴェニスの人」(札幌)

③ シアターZOO 寄席

定期的に「寄席」を開催し、地域住民とのコミュニケーションを図る。

[時期・回数] 0回

※新型コロナウイルス感染症の影響で中止

④ 札幌劇場祭(TGR)参加公演

[参加団体] ラボチ・プロデュース、劇団風蝕異人街、劇団 fireworks

[時期] 11月3日～12月4日

(2) サンピアザ劇場企画公演プレミアムステージの企画運営

札幌副都心開発公社が運営するサンピアザ劇場が2022年3月31日をもって休館となり、同劇場における企画運営ならびに協力体制は終了となるが、今後新たに札幌駅北口に開館する民間劇場「北八劇場」と協力体制を図り、演劇等の創造活動の促進支援を維持する準備を行った。

3. 地域における演劇に触れる機会の提供に関する事業

定款第4条第3号に掲げる事業は、次の計画により行なった。

(1) 地域文化活動の担い手の育成

各地の公共ホール運営団体や文化団体の企画担当者に、文化事業実施に関する情報やノウハウの提供を行い、地域における有益な文化活動を推進する担い手の育成を目指した。

(2) 各地域の自治体および団体による公演活動

地域の人のつながりや個性ある地域社会をつくるために有効な文化事業を提案し、またその実施に際しスタッフの派遣、事業の運営および管理を行い、1作品を1カ所で1公演を行う計画が、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったが、イレブンナイン「ひかりごけ」道内公演の2023年度の準備協力ならびにノウハウの提供を行った。

① 札幌座「郷愁の丘ロマンピア」清田公演

作: 山田百次(ホエイ・劇団野の上)

演出: 斎藤歩(札幌座)

出演: 斎藤歩、山田百次、泉陽二(札幌座)、納谷真大(イレブンナイン)ほか

公演日: 11月3日(1回) 会場: 清田区民センター

※新型コロナウイルス感染症の影響で中止

② イレブンナイン「ひかりごけ」道内公演の準備協力ならびにノウハウの提供

原作: 武田泰淳

作・演出: 納谷真大(イレブンナイン)

ドラマツルグ: 斎藤歩(札幌座)

出演: 納谷真大(イレブンナイン)、菊地颯平(イレブンナイン)、斎藤歩(札幌座)、泉陽二(札幌座)

4. 演劇等の創造環境の充実及び市民活動の育成に関する事業

定款第4条第4号に掲げる事業は、次の計画により行う。

(1) 市民活動との協力

市民による文化的まちづくりの充実を図るため、「特定非営利活動法人札幌座くらぶ」と提携し、情報交換会「シアターZOO サロン」を年8～10回開催・年間400名の参加者を見込んでいたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、1回を開催し、31人が集まった。

また、ボランティア組織（「清田演劇のつどい実行委員会」「江別演劇プロジェクトWinds」）などと協力して札幌市内および近郊で演劇の普及活動を行うほか、演劇創造都市札幌プロジェクト、らてるね賞実行委員会など、北海道における演劇を取り巻く環境の改善を目指し活動する市民組織の活動を支援した。

(2) 広報紙の発行

内容を充実させ、より広報活動に使用できるものとする。

[発行回数] 年2回(4月、10月)

[発行枚数] 各500部

2 収益事業について

1. 演劇等の創造活動の促進支援に関する事業

定款第4条第2号に掲げる事業は、次の計画により行う。

(1) 劇場とスタジオ1・スタジオ2の貸与

地域の劇団や文化団体などに活動の場を提供するため、所有する扇谷記念スタジオのシアターZOOとスタジオ1とスタジオ2を主に道内の劇団や文化団体に貸与した。

2. 演劇等の創造環境の充実及び市民活動の育成に関する事業

定款第4条第4号に掲げる事業は、次の計画により行った。

(1) 会計入力等経理全般事務の受託

同じ目的を持つ芸術文化団体には財政基盤の弱いところが多い。このため芸術文化活動を継続し、展開するために必要な会計処理等経理事務の人員配置が困難な団体から、会計入力等経理全般事務を受託した。

[受託団体] 特定非営利活動法人札幌座くらぶ、株式会社 tatt